

令和元年度決算について

当初 212 億 7 千万円でスタートした予算は、6 回の補正を行い、5 億 7,356 万 1 千円を増額し、また前年度からの繰越額 22 億 6,589 万 6 千円を加え、最終的には、241 億 945 万 7 千円となりました。

こうした財政状況の中、「歳入に見合った歳出構造」の考えのもと、施策の積極的かつ効率的な推進に努めました。

結果、前年度に比べ、歳入決算額は 19 億 6,374 万 9 千円の増加、歳出決算額は 17 億 6,053 万 1 千円の増加となりました。本年度の特徴として、大型事業の進捗に伴い、歳入において国庫支出金と市債、歳出において土木費（大倉戸茶屋松線整備事業、浜名湖西岸土地区画整理事業）と教育費（幼小中空調設備整備事業、岡崎幼稚園こども園化事業）等が増えています。

I 決算の状況

1. 決算規模

令和元年度の一般会計は、

歳入 235 億 1,814 万 7 千円（前年度 215 億 5,439 万 8 千円）
 歳出 217 億 2,210 万 7 千円（前年度 199 億 6,157 万 6 千円）

となり、前年度に比べ歳入 9.1%の増加、歳出 8.8%の増加となりました。

歳入歳出差引額（形式収支）17 億 9,604 万円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源 2 億 1,653 万 5 千円を差し引いた実質収支は、15 億 7,950 万 5 千円で、単年度収支は、2 億 1,492 万 2 千円となりました。

表－1 最近5か年の収支状況

（単位：千円）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入決算額	22,447,488	22,351,522	21,796,115	21,554,398	23,518,147
歳出決算額	21,061,061	21,237,800	20,347,953	19,961,576	21,722,107
歳入歳出差引額 （形式収支）	1,386,427	1,113,722	1,448,162	1,592,822	1,796,040
翌年度へ繰り越 すべき財源	79,620	104,889	102,692	228,239	216,535
実質収支	1,306,807	1,008,833	1,345,470	1,364,583	1,579,505
単年度収支	▲ 48,024	▲ 297,974	336,637	19,113	214,922
積立金	1,066	658	319	269	211
繰上償還金	0	0	0	0	0
積立金取崩し	92,384	104,189	313,443	630,000	525,708
実質単年度収支	▲ 139,342	▲ 401,505	23,513	▲ 610,618	▲ 310,575